まち、ひと、湯前の元気と魅力を届ける［広報ゆのまえ］
yunomae 05
2017.MAY
Vol.431
新しいステージで
歩み出した夢への旅路―。
特集
平成29年度施政方針・当初予算

広報ゆのまえ 2017 No.431 05

CONTENTS

湯前の今／
B&G 海洋センターの桜とヒヨドリ
まちなみも春めき出した 4 月初旬。開花が遅れていた桜もようやく花を咲かせた。ミツバチや虫たちが集まる中、ヒヨドリも花粉でクチバシが黄色くなるほど桜の花に夢中になっていた。

5 月の主な行事予定

9 日（火）	生涯学習開講式
14 日（日）	湯前中学校体育祭
16 日（火）	郡民体育祭（ゲートボール）
20 日（土）	JT の森ゆのまえ
21 日（日）	町民球技大会
25 日（木）	郡民体育祭（グラウンドゴルフ）
28 日（日）	〃（陸上）

まちの人の動き（H29.3.31）

・人口　4046 人
　男性　1879 人
　女性　2167 人
・世帯　1616 戸

湯前町広報誌［yunomae］
広報ゆのまえは毎月 1 回発行しています。広報誌は湯前町のホームページでも見ることができます。ぜひ、町と人の“活き活きと輝く今”をパソコンやスマートフォンでもお楽しみください。
http://www.town.yunomae.lg.jp/

［発　行］湯前町役場総務課総務係
〒868-0621　熊本県球磨郡湯前町 1989-1
TEL 0966-43-4111　FAX 0966-43-3013
kouhou@yunomae.kumamoto.jp

◎平成29年度施政方針

住みたい、住み続けたいと思えるまちへ―。

湯前町長 鶴田（つるだ） 正巳（まさみ）

3月9日から16日で開かれた平成29年第2回議会定例会で鶴田正巳町長は、施政方針と予算編成方針を示しました。「活き活きと輝き誇れる町ゆのまえ」を目指す、平成29年度の湯前町の計画と予算を紹介します。

■施政方針

人口減少が続き、25年後の平成52年には本町の総人口が2511人になると予測されています。「住みたい、住み続けたいまち」を目指し、にぎわいづくりと住みやすさの向上に取り組んでいきます。

人口減少や過疎化の克服、家族や地域のきずなの再生、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえ、「ゆのまえが好き」と思えるまちづくりを推進します。総合計画、総合戦略を中心に、地域や住民に必要なものを見直し、好循環を実現していきます。

「林業資源の活用」「積極的な農業支援策」「福祉施策の充実」で雇用の場をつくります。近年増えている「ふるさと納税」を活かし、魅力ある商品づくりで所得向上を目指します。

公営住宅の長寿命化や単身・子育て世代が入居できる住宅を建設し、空き家を利活用した定住支援も行います。

保健センターと海洋センターを拠点に、住民の健康寿命の延伸に取り組みます。保育園と連携し、子育ての充実を支援します。

日本遺産に認定された文化財、四半世紀続く漫画の町としての取り組みに、健康・自然を組み合わせ、駅を中心ににぎわいをつくります。

地域おこし協力隊や大学・企業と連携したインターネット技術の活用で暮らしやすさを充実させます。地域医療や公共交通など広域的な地域の課題にも取り組んでいきます。

■予算編成方針 ※主なもの

◆はぐくみ、支え合う人とまちづくり

1．後継者対策

○ずっと受け継がれてきた家業が絶やされることがないよう、後継者育成と支援を行う。

2．教育

○支援員やICT機器を活用。

○安心・安全に学校生活を送れるよう、施設を維持・補修。

○日本遺産に認定された構成文化財などの維持・継承。

○地域の文化財を掘り起こし、基本構想を策定。文化財の魅力をまちづくりに活用。

○まんが美術館で企画展を開催し、魅力を全国へ発信。

○リニューアルしたB&G海洋センターで健康づくりを支援し、各種教室・大会を開催。

◆産業の振興

1．農林の振興

○経営体の育成に努める。農業研修生受入の仕組みをつくり、担い手を育成する。

○優秀な素牛導入で畜産業の活性化と所得向上を目指し、家畜防疫にも務める。

○農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止に取り組む。

○スギ・ヒノキの需要を促進。

○鳥獣被害の軽減に努める。

2．商工業・観光の振興

○本町の文化財を含めた観光資源を活用。観光案内人の配置で魅力ある観光を実現し、交流人口の増加に努める。

○まんが図書館・カフェ、展示施設で新たな雇用の創出、交流人口の増加に努める。

○「湯～とぴあ」を改修し、観光物産を強化。

◆住環境の整備

○町道新村線・町道学校線の歩道整備に取り組み、通学生や住民が安全に通行できる環境をつくる。

○34橋分の橋りょう点検を実施予定。

○里住宅の屋根と外壁の改修。若者の移住・定住を促進するため、一般住宅の建設に着手。

○ごみの減量化と資源ごみのリサイクルを推進。

◆健康・福祉の増進

1．健康の増進

○健康診査、各種がん検診、歯科検診などを実施。健診後は保健師や管理栄養士が支援。健康的な生活習慣づくりを推進し、健康寿命を伸ばす。

2．福祉の増進

○支援が必要な一人暮らしや高齢者のみの世帯、認知症の人を地域の中で日常的に見守り、支える体制を整える。

○「子ども子育て支援事業計画」にもとづいて質の高い幼児期の教育・保育を行う。

◆行財政運営

○効率的に財産を配分し、地方創生の地域づくりや多様化する住民のニーズに対応する。

○健全で安定した財政運営を行い、地域情報の発信や住民主役の町政を推進する。

○創意工夫を重ねながら「第5次湯前町総合計画」「湯前町総合戦略」を推進する。

にぎわいづくりの中心となる湯前駅前（予想図）

Town Budget

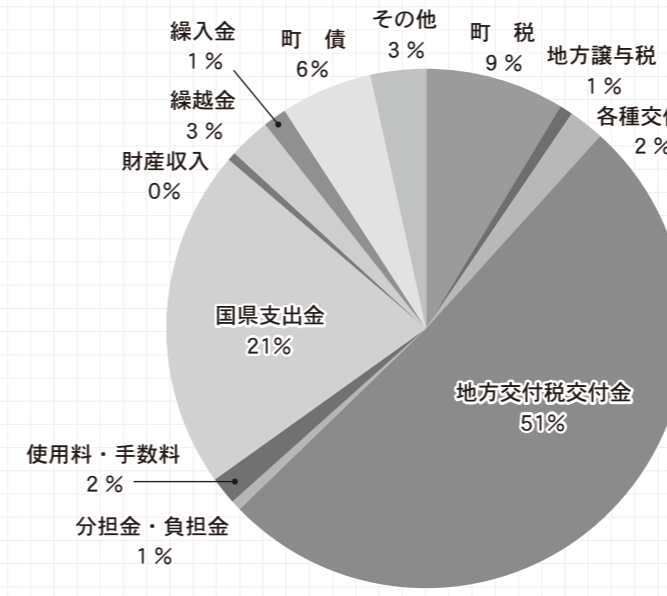
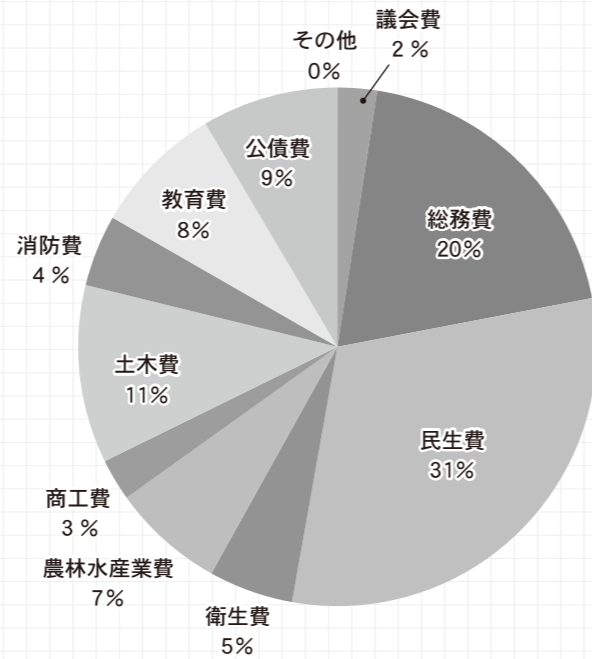
一般会計予算　27億2330万円

平成29年度湯前町一般会計の予算は、歳入、歳出ともに27億2330万円です。「住みたい、住み続けたい」と思うまちづくりの実現へ向けた、本年度予算の内容を紹介します。

歳 出

議会費	6,702 万円	2%
総務費	53,184 万円	20%
民生費	83,925 万円	31%
衛生費	14,372 万円	5%
農林水産業費	19,140 万円	7%
商工費	7,129 万円	3%
土木費	30,229 万円	11%
消防費	12,160 万円	4%
教育費	22,336 万円	8%
公債費	23,109 万円	9%
その他	44 万円	0%
合　計	272,330 万円	100%

その他 0%
議会費 2％
総務費 20%
民生費 31%
衛生費 5%
農林水産業費 7%
商工費 3％
土木費 11%
消防費 4％
教育費 8%
公債費 9%

歳 入

町　税	23,603 万円	9%
地方譲与税	2,260 万円	1%
各種交付金	6,024 万円	2%
地方交付税交付金	139,031 万円	51%
分担金・負担金	1,694 万円	1%
使用料・手数料	4,735 万円	2%
国県支出金	57,582 万円	21%
財産収入	1,455 万円	0%
繰越金	7,000 万円	3%
繰入金	4,000 万円	1%
町　債	15,543 万円	6%
その他	9,403 万円	3%
合　計	272,330 万円	100%

自主財源	51,890 万円	19%
依存財源	220,440 万円	81%
合　計	272,330 万円	100%

♥ 議会費

議会費	6,702万円

♥ 総務費

財産の管理	2,483万円
公有林の管理	7,238万円
交通安全対策	923万円
地域活性化	804万円
情報管理	3,116万円

♥ 民生費

高齢者福祉	15,831万円
後期高齢者医療費	9,193万円
臨時福祉給付金	1,691万円
子どもの福祉	2,226万円
国保会計への繰出	5,666万円

♥ 衛生費

公立多良木病院企業団負担金	557万円
子ども医療費助成金	1,548万円
がん検診やワクチンなどの予防費	3,320万円
環境・衛生費	704万円
し尿やごみなどの処理費	6,246万円

♥ 農林水産業費

農業の振興	9,876万円
林業の振興	1,336万円
農村環境改善センターの維持管理	257万円
畜産業費	399万円
農業委員会費	2,032万円

♥ 商工費

商工業の振興	2,705万円
観光の振興	2,632万円

♥ 土木費

下水道特別会計繰出金	8,482万円
道路の維持管理	14,403万円
住宅の建設、改修工事費	3,722万円

♥ 消防費

上球磨消防組合負担金	7,712万円
消防団員年報酬・訓練手当	826万円
消防施設の維持管理	2,229万円

♥ 教育費

湯前小学校運営費	3,018万円
湯前中学校運営費	3,338万円
公民館活動運営費	1,191万円
湯前まんが美術館運営経費	1,463万円
体育施設維持管理経費	1,551万円
学校給食費	3,877万円

♥ 公債費

元金	20,809万円
利子	2,299万円

※歳出はすべて主なもの

♥ 町税

町県民税	9,233万円
固定資産税	10,504万円
軽自動車税	1,527万円
たばこ税	2,280万円
その他	59万円
町税合計	23,603万円

♥ 地方譲与税

自動車重量譲与税	1,520万円
地方揮発油譲与税	740万円
その他	0.1万円
地方譲与税合計	2,260万円

地方譲与税：国税として徴収したものを町へ譲与するもの。

♥ 地方交付税

普通交付税	139,031万円
特別交付税	0.1万円
地方交付税合計	139,031万円

地方交付税：国税を財源にして、全国どの町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が町に交付するもの。

♥ 分担金・負担金　※主なもの

上・中球磨巡回支援専門員整備事業費負担金	634万円
保育園入所児童保護者のなどの負担金	890万円

♥ 使用料・手数料　※主なもの

湯前町インターネット使用料	1,522万円
町営住宅使用料	2,610万円
教育施設使用料	131万円
窓口(戸籍、住民票など)証明手数料	217万円

♥ 国・県支出金　※主なもの

保育所運営費負担金	6,342万円
障害者福祉費負担金(国)	8,605万円
子ども手当・子どものための手当負担金(国)	3,597万円
農業費補助金	5,765万円
林業費補助金	5,674万円

♥ 財産収入　※主なもの

木竹売払収入	1,414万円

♥ 繰越金

前年度繰越金	7,000万円

♥ 繰入金　※主なもの

財政調整基金繰入金	4,000万円

♥ 町債　※主なもの

臨時財政対策債	7,601万円
道路整備債	6,420万円
住宅整備債	1,520万円

町債：町の事業で財源が足りないとき、外部から資金を調達するもので、長期的な借入金のこと。

だれよりも正しく、だれよりも速くー。

消防団辞令交付式 ポンプ操法大会

ばつぐんの操法を披露した第３分団第３部A（野中田）

平成29年度湯前町消防団辞令交付式・ポンプ操法大会が４月２日にB&G海洋センター一帯で開かれ、団員133人が参加。操法大会には13部・14チームが出場し、小型ポンプの部は第３分団第３部A（野中田）、ポンプ車の部は第２分団第１部（上下染田）が昨年に引き続き優勝しました。

辞令交付式では退団者17人と新入団員７人に辞令が交付され、新入団員を代表して第１分団第１部（上里）の平野翔馬（しょうま）さん（26＝上里１）が大きな声で宣誓しました。ほかにも３月７日に東京都で開かれた「第68回日本消防協会定例表彰式」で本町に授与された表彰旗の披露や、27年間勤続し、現在、副団長を務める篠原一久（かずひさ）さん（47＝瀬戸口）の日本消防協会と消防庁長官の表彰伝達も行われました。

操法大会では、各分団が練習の成果を披露。ことしから、ばつぐんの操法技術を発揮した団員を表彰する「最優秀選手賞」もつくられ、８人の団員が表彰されました。被表彰者、競技の結果は次のとおり。

〈退団者〉

○第１分団第１部　赤池　昌信
○第１分団第２部　浅田　徹
〃　森下　博文
〃　高木　潤人
○第１分団第３部　椎葉　龍
〃　地内　優治
○第２分団第１部　那須　崇
〃　菊川　克祐
○第３分団第１部　権頭　正勝
○第３分団第２部　的場　優真
○第３分団第３部　森山　力男
〃　山崎　盛光
〃　深水　信俊
○第３分団第４部　溝邉　雄
○第４分団第２部　平川　孝博
○第４分団第３部　野島　勇助
〃　野田勇一郎

〈入団者〉※途中入団含む

○本　部　足立　好
〃　山崎　莉奈
○第１分団第１部　平野　翔馬
○第１分団第２部　工藤　祐二
〃　工藤　孝昭
○第３分団第２部　的場　良太
○第３分団第３部　大林　達明
○第３分団第４部　満尾　将貴
○第４分団第１部　田口　順也
〃　石井　康博

〈表　彰〉

▽日本消防協会定例表彰
○表彰旗　湯前町消防団
○精績章
（勤続20年以上の副団長）
○本部　篠原　一久
▽消防庁長官定例表彰
（勤続25年以上）
○本部　篠原　一久
▽熊本県知事表彰
○永年勤続功労章
（勤続25年以上）
○第２分団第３部　那須　直樹
○第３分団第１部　溝辺　真知
○第３分団第３部　伊藤賢一郎

〈ポンプ操法大会〉

▽小型ポンプの部
優勝　第３分団第３部A
（野中田）
２位　第４分団第１部（上村）
３位　第３分団第４部（田上）
▽ポンプ車の部
優勝　第２分団第１部
（上下染田）
▽敢闘賞
第３分団第２部　（中猪）
※前回11位から今回６位
▽最優秀選手賞
○小型ポンプの部
指揮者　廣田　祐哉（野中田）
福屋　博樹（下村）
２番員　東　伸豪（野中田）
滝上　紘史（下城）
勘米良康隆（上村）
○ポンプ車の部
指揮者　白川　正央（上里）
１番員　中釜　由晴（上下染田）
４番員　椎葉　浩樹（上下染田）

◎Close up fire brigade

第3分団第3部Ａ（野中田）第2分団第1部（上下染田）が連続V

No.1 湯前中学校入学式

新生活への期待ふくらむ

第71回湯前中学校入学式が4月11日に同校体育館で開かれ、31人の新入生が決意を新たに、中学校の門をくぐりました。

新入生は担任の教師から名前を呼ばれ、「はい！」と元気に返事をして起立。古家慎也校長は「中学校3年間は心と体が最も成長する時期。多くのことを学んで、それぞれの個性、強みを伸ばしながら、すばらしい学校をつくり上げてほしい」とエール。ことしから、会場には湯前小学校6年生も来場し、一緒に過ごした先輩の入学を祝いました。

生徒会長の林陽輝くん（同校3年＝下城）が「みんなが入学するのを楽しみにしていた。自分で考えて動けるようになり、一緒に日本一の学校を目指そう」と歓迎。新入生を代表して須賀柚葉さん（上里1）が「これから始まる生活が楽しみ。勉強や部活など乗り越えられるかという不安もあるが、先輩や先生たちとともに頑張っていきたい」と誓いの言葉を述べました。

会場から大きな拍手を受けて入場する新入生

1 呼名に大きな返事で答えた 2 新しい環境に期待をふくらませ、自分の誓いを述べた須賀さん 3 ことし3月まで一緒に過ごした先輩の晴れ姿を目に焼きつける湯前小6年生

No.2 湯前小学校入学式

9年間の義務教育がスタート

平成29年度湯前小学校入学式が4月11日に同校体育館で開かれ、32人の新入生が9年間の義務教育をスタートさせました。

新入生が6年生に連れられて会場へ入ると、保護者や在校生が大きな拍手で歓迎。新入生は少し緊張していましたが、名前を呼ばれたあと、きちんと背すじを伸ばして立っていました。菅原浩子校長は「みんなの入学を心待ちにしていた。『元気なあいさつ』『自分でできることは自分でする』『ルールを守る』の三つを頑張って、毎日元気に通ってほしい」とあいさつ。

5・6年生は「入学おめでとうございます！ 楽しい勉強や、おいしい給食が待っています。困ったことがあったらいつでも私たちに言ってください」とメッセージと歌で新入生を歓迎していました。

大きな返事をして背すじをまっすぐ伸ばす新入生たち

No.3 小学生が観光パンフレット作成

湯前町PR大使に感謝状

昨年11月、「湯前町PR大使」として本町から委嘱された小学生（現中学1年生）33人が町をPRするパンフレットを作り、3月27日に鶴田正已町長へ完成を報告しました。

児童みずからが町の良さを調べることで、ふるさとに愛着をもってほしいと教育委員会が企画しました。児童は専門家から取材の仕方を学び、6～7人ずつ5班に分かれて「伝統芸能」「イベント」「施設」「歴史」「商業」のパンフレットを作成。インタビューや写真撮影を行ったあと、一人1ページを担当し、パソコンを使って、紙面のレイアウトを考えました。

湯前町役場で鶴田町長へ完成を報告し、代表して中村和弘教育長から感謝状を受け取った浅田元哉くん（上里3）は「自分が知らなかった町の魅力をたくさん知った。町外の知り合いにも町の良さを広めたい。たくさんの人に湯前に来てほしい」と話しました。

鶴田町長へパンフレットの完成を報告した浅田くん

MONTHLY TOPICS

マンスリートピックス

◎１カ月のできごと

３月27日（月）

カラオケスキップの稲田さんと歌手谷口修三さんが被災地へ寄附

カラオケスキップ（店主＝稲田實さん）と稲田さんの小中学校の同級生で日本クラウンに所属する歌手、谷口修三さん（山口県出身）が熊本地震の被災地のためにコンサートやチャリティーで募金を行い、３月27日に約12万円を寄附しました。

カラオケスキップのチャリティーは３月25日にあさぎり町須恵文化ホールで開かれ、約３００人が来場。谷口さんは新曲発表コンサートを山口県下関市で開催。寄附は町から社会福祉協議会を通して被災地に送られます。

被災地への思いを
町へ届けた稲田さん

３月30日（木）

感謝の気持ちで15年

ひなの会が町へ寄附

２月12日から３月20日まで「湯～とぴあ」で手作りひな祭り展を開いていた、ひなの会（山浦艶子代表＝16人）が３月30日に湯前町役場を訪れ、３万円を町に寄附しました。

ことし、展示には５８８人が来場。開催15周年として、会場を提供する町への寄附を決め、会員が丁寧に作った小物やバッグ、人形など作品の売上を寄附しました。代表の山浦さんは「節目を乗り越えようとみんなで頑張ってきた。寄附は町の福祉のためにつかってほしい」と話していました。

長年活動を続け、
町へ寄附をしたひなの会

３月30日（木）

町の知名度アップへ

湯前町観光案内人協会設立

湯前町観光案内人協会（事務局＝湯前町観光物産協会）の設立総会が３月30日に湯前町役場で開かれ、６人と４団体が会員となりました。

昨年度まで開かれていた観光案内人養成講座を受講した個人や団体が会員となり２年の任期で活動します。本年度は研修や町内のイベントへの協力、会員みずからが企画をする「まちあるきツアー」なども行う予定です。

設立総会では会長に有馬鉄郎さん（67＝上里１）、副会長に橋田實子さん（73＝下里）が選ばれました。

町の知名度アップに
意欲を燃やす会員ら

４月１日（土）

右田秀美さんに再委嘱

本町の行政相談員

右田秀美さん（64＝上里３）が４月１日づけで総務大臣から行政相談委員として再委嘱されました。

行政相談委員は住民から行政のサービスや手続きなどの相談を受けつけ、解決のための助言や関係機関への通知などを無報酬で行っています。右田さんは平成14年から同委員として活動。

任期はことし４月１日から平成31年３月31日までの２年間。相談所は定期的に開設され、日程は旬報などでお知らせします。

長年、行政相談員として
活動している右田さん

４月４日（火）

地域の見守りや災害時に協力

本町と湯前郵便局が協定

安心安全なまちづくりのために本町と湯前郵便局（古閑恵介局長）が４月４日、湯前町役場で二つの協定を結びました。郵便局の職員が「高齢者や子どもの異変」「道路の異常」「不法投棄」を見つけたときに町へ報告。災害時には避難所の開設状況や避難先リストの情報共有、避難先への郵便物の配送、郵便料金を免除するなどして連携します。鶴田正已町長は「地域を知る郵便局からの情報提供は住民の暮らしに直結する。とても心強い」と話していました。

地域の見守りと災害時の協定に
調印した両者

４月10日（月）

元民生委員、石見さんに厚生労働大臣表彰

昨年11月まで６期18年間、民生児童委員として活動していた石見勉さん（79＝上里１）に厚生労働大臣から表彰状が贈られました。

石見さんは平成10年から同委員として活動し、副会長、会長も歴任。４月10日に湯前町役場で表彰伝達式が開かれ、鶴田正已町長から石見さんに表彰が伝達されました。石見さんは「高齢者と接することが好きで、楽しく活動を続けられた。これからも地域の皆さんに寄り添いながら暮らしていきたい」と話していました。

厚生労働大臣からの
表彰状を受け取る石見さん

湯前のよか✶とこ発見！

今月のリポーター ✶ 中山　一孝

布えほんに興味津々の赤ちゃん

「えほんの世界へようこそ！」

町内で桜の花が咲き始めるとともに力強く泳ぎだした大きなこいのぼり。もうすぐこどもの日ですね。

３月16日に湯前町保健センターで「１歳児検診（ブックスタート）」があり、なずなの会（園田篤子代表=16人）から赤ちゃんに「布えほん」がプレゼントされました。

布で作られた絵本を１歳児検診に来た人へプレゼントする取り組み。「子どもの人数が減ったので、手作りの絵本を一人一人にプレゼントしよう」となずなの会が６年前から始めました。布えほんはすべて会員の手作りです。会長の園田さんは「赤ちゃんに本を好きになってほしいのはもちろん、子育てする人を応援したいという気持ちで作っています。安心して子育てができるようにバックアップしますので、いつでも相談してくださいね！」と話していました。

この日は、町からも絵本を１冊プレゼント。２種類の絵本をもらった赤ちゃん。布えほんのフェルトでできたキリンやライオンなどのマスコットを見て・さわってうれしそうにお母さんへ見せていました。

ブックスタートのあと、私が小さいころに読んでいた絵本を久しぶりに読んでみると、懐かしさだけでなく奥深さも感じました。絵本は“子どもが読むもの”だと思っていましたが、大人になった今、もう一度絵本を読んでみるのも良いかもしれませんね。

今月のゆのまえがお　椎葉　たみの さん（93=田上）

良き仲間に囲まれて
笑顔を絶やさない椎葉さん

「笑顔がすてき」「何かＰＲしたい」などたくさんの人を待っています！
（総務課　地域おこし協力隊まで　TEL 0966-43-4111）

ひとこと「湯愛に来ている人や職員さん、みんな良い人です。よかとこに嫁ぎました」

ほかにもゆのまえ情報がいっぱい！くわしくは湯前町総合情報サイト「ゆのまえかじり」へアクセス！

https://www.yunomae-kaziri.com/
（ ゆのまえかじり　と検索してもアクセスできます）

「 東京から湯前へやってきました！ 」

協力隊のゆのまえ暮らし（ゆる～く近況報告）

農業で皆さんとかかわります。
よろしくお願いします！

初めまして。４月から地域おこし協力隊として移住してきた中山一孝です。出身は福岡県で、その後東京で暮らしていましたが、故郷を飛び越えて湯前に来ました。初めて湯前に来たとき、どこかバリのウブドの景色と重なるところもあり一目ぼれしました。同じ協力隊員の森田さんに「ここは住みやすいところですよ」と聞き、娘の進学と時期を合わせて移住を決めました。これまでと環境がほぼ真逆でとまどうところもありますが、すべてが新鮮で、ご近所さんも親切にしてくれるので「来てよかったなぁ」と思う毎日です。これからよろしくお願いします。（中山）

YUNOMAE TOWN NEW FACE

新規採用職員の抱負

生まれ育った大好きな湯前町で仕事ができ、とてもうれしいです。人と人との出会いを大切に、たくさんの町民の皆さんとかかわっていきたいです！元気で親しみやすい職員になって、町のために精一杯頑張ります！どうぞよろしくお願いします。

税務町民課
固定資産税係兼町民税係兼会計室主事
山崎　莉奈（19＝上里 2）

私は水上村出身ですが、幼いころに育った湯前町は、もう一つの故郷と言っても過言ではないほど親しみのある町です。そんな湯前で社会人としてスタートでき、とてもうれしいです。町民の皆さんに信頼される職員になるためにも、１日１日大事に、一生懸命勤めていきます。これからよろしくお願いします。

議会事務局
主事
足立　好（19＝上里 2）

「一生勉強」という言葉があるように１日１日を大事にし、湯前町が活き活きと輝き、誇れる町に近づいていくよう町の一員として努力していきます。事務処理を１日でも早く覚えることはもちろん、人と人との距離感を大切にし、人間だからこそできることを心がけたいです。これからどうぞよろしくお願いします。

教育課
学校教育係兼社会体育係主事
大林　達明（26＝野中田 2）

役場の組織体制を紹介します

（４月１日付）　※太字は人事異動、（　）は兼任、網掛けは新任

◆町長部局（鶴田 正已町長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
総務課	高橋　誠	那須　康清	情報統計係	**（有馬　博士）**	**澤田　明日香**
		本山　りか	管財防災係	荒木　龍二	**（勘米良　康隆）**
			企画振興係	（本山　りか）	勘米良　康隆
					（澤田　明日香）
			総務係	**（有馬　博士）**	姫野　宏太
					右田　千晴
			財政係	黒木　博行	（姫野　宏太）
			総務課付（熊本県後期高齢者医療広域連合出向）		沖松　泰豪
税務町民課	皆越　克己	堤田　真由美	町民係	兼田　奈緒美	（藤本　尚）
			保険医療係	佐藤　大	藤本　尚
					（那須　文枝）
					（福山　祐里子）
		中園　誠二	町民税係	植木　圭一郎	那須　文枝
					（福山　祐里子）
					渕上　駿
					（山崎　莉奈）
			固定資産税係	**（中園　誠二）**	（那須　文枝）
					（渕上　駿）
					山崎　莉奈
			収納係	**（中園　誠二）**	
				（植木　圭一郎）	
保健福祉課	白川　一雄	中西　博子	福祉係	赤池　寛子	山崎　祥子
					落合　由衣
					岩本　直樹
			保健係	田中　朋子	野々原　亜紀
					東　和美
			環境衛生係	平山　美紀	（落合　由衣）
		髙木　堅介	介護保険係	（髙木　堅介）	（落合　由衣）
					豊後　真由
建設水道課	稲森　一彦		管理係	浅田　徹	（那須　信吾）
					溝下　寛明
			整備係	伊藤　賢一郎	橋本　康平
			水道係	（浅田　徹）	那須　信吾
産業振興課	皆越　利次	**赤池　昌信**	農業振興係	**椎葉　祐介**	**滝上　紘史**
					（澁谷　将人）
					（黒木　あさみ）
			農林整備係	椎葉　泰裕	**澁谷　将人**
			地域再生戦略推進係	（赤池　昌信）	**（滝上　紘史）**
					黒木　あさみ
			商工振興係	佐藤　由美子	（岩野　浩平）
					西　公文
			観光推進係	岩野　浩平	（佐藤　由美子）
					（西　公文）
会計室	会計管理者 愛甲　正之				福山　祐里子
					（那須　文枝）
					（山崎　莉奈）

◆町議会（山下 力議長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
議会事務局		西村　洋一			足立　好

◆教育委員会（中村 和弘教育長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
教育課	**北崎　真介**		学校教育係	**栗原　利香**	山野　瑛人
					大林　達明
			社会教育係	吉田　真紀	黒木　優士
					（山野　瑛人）
				文化財担当	藤崎　正人
			社会体育係	**（吉田　真紀）**	工藤　陽平
					（藤崎　正人）
					（大林　達明）
			学校給食共同調理場	**（吉田　真紀）**	

◆農業委員会（稲森 英雄会長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
農業委員会		吉田　精二			山口　真子

読書のススメ

中央公民館図書室

価値観をくつがえされる衝撃の空想科学ミステリー

円華という若い女性のボディーガードを依頼された元警官の武尾。
同じころ、遠く離れた二つの温泉地で硫化水素による死亡事故が起きていた。検証に出向いた地球化学の研究者・青江は、双方の現場で円華を目撃する。

ラプラスの魔女
東野 圭吾（著） 角川書店

1番を目指し続ける、波乱に満ちた人生のストーリー

小学校の徒競走での１等賞をきっかけに「常に１番を目指す」男、秋田泉一。何度失敗しても立ち上がり、挑戦を続けてチャンスをつかんでいく。一途な生き方を時代風景と重ね合わせながらユーモアたっぷりに描くエンタメストーリー。

金メダル男
内村 光良（著） 中央公論新社

臨場感あふれるおやつづくり

鏡のように反射するピカピカの紙でつくられた絵本。絵本を90度に開くと、両側のページの絵が互いに映りこみ、驚くほど立体的に見える。卵をわって、小麦粉、砂糖、牛乳を入れて何をつくろう？

きょうの おやつは かがみのえほん
わたなべ ちなつ（著） 福音館書店

すぐに実践できる集中力アップの方法

「気が散ってしまい、いつも集中が続かない」「仕事や勉強で毎日疲れている」「本番や締切りが近づいて、せっぱ詰まっている」。メンタリストDaiGoが実行している18のメンタリズムで集中力を劇的にアップさせる。

自分を操る超集中力
メンタリストDaiGo（著） かんき出版

○平日　8：30～17：00
○土日・祭日　9：30～17：00
※貸出期間は２週間で、一人５冊まで。

［お問い合わせ］中央公民館
TEL0966-43-2050

図書カードのデザインが変わりました

ゆっくんが入った4種類の図書カードができました

中央公民館の本を借りるために必用な「図書カード」。今までは白い紙に名前やバーコードが書かれているだけでしたが、同館に勤める山下結以（ゆい）さん（21＝下村）がデザインし、ことし2月に新しい４種類の図書カードができました。

図書カードは、同館で申し込みをすると、もらうことができ、館内にある絵本や小説などの本を借りることができます。山下さんは黄色や薄いベージュ色などの、まんが美術館のイメージに合わせた色を使い、英語を使ったものや、シンプルなデザインのものを作るなど、大人から子どもまで親しみやすいカードを作りました。

このカードは新しく登録する人や、汚れたり、破けたりしてカードが使えなくなった人に渡され、4種類から好きなものを選ぶことができます。

中央公民館
山下結以（ゆい）さん（21=下村）

絵本大賞に選ばれたものや、テレビで話題の本など、人気の本を取りそろえています。大人から子どもまで、たくさんの人に本を読んでもらいたいです。中央公民館でお待ちしています♪

文化のタカラ。 Vol.2 八勝寺阿弥陀堂

～日本で最も豊かな隠れ里の歴史～

平成27年に元のかやぶき屋根に修復された八勝寺阿弥陀堂。お堂が建てられた年代は分かっていませんが、1484年に仏具（わに口）が仏堂の軒先につり下げられ、1490年には堂内の阿弥陀三尊像が作られたことが分かっています。お堂は一度なくなり、それらが作られたあとに建て直されたと考えられ、三尊の仏像は1730年に京都府で修理されました。

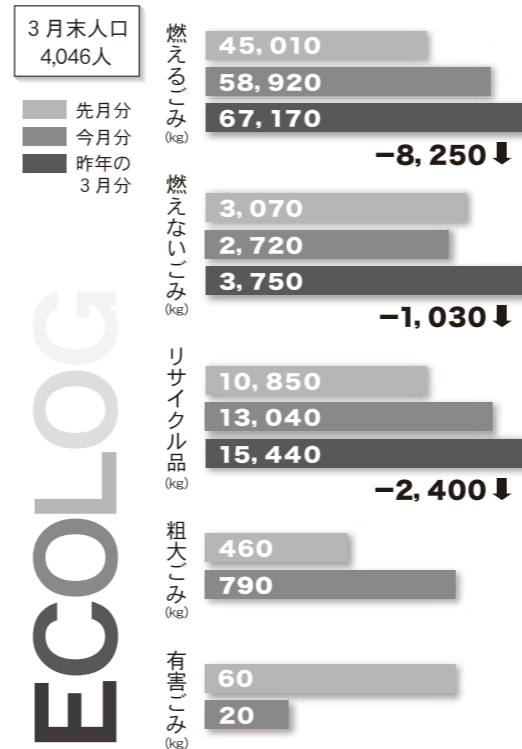
仏像を安置している厨子（ずし）の内には「作者　賀（が）吽（うん）」の文字があり、厨子・須弥壇（しゅみだん）はお堂が建て直されてから、およそ100年後の1580年代に作られたことが分かっています。「賀吽」の名前は町内の下里御大師堂や球磨郡内各地の仏像や厨子にもみられます。賀吽は関東出身で、彩色も行っていたとされる彫刻師でした。

平成 27 年に修復され、元のかやぶき屋根の姿を取り戻した阿弥陀堂

県指定の重要文化財の木造阿弥陀如来像

問 教育委員会 TEL0966－43－2050

４月のごみ情報

ゴールデンウィークにまとめてリサイクルしませんか?

気候も暖かくなり、お出かけびよりですが･･･そろそろ薄手のものに衣替えする時期。５月の大型連休を機に、たまった新聞紙・古雑誌・ダンボール・空き缶・空きびん・ペットボトル・衣類など、まとめてリサイクルしませんか？リサイクルステーションは年中開いていますので、きちんと分別して決められた場所に出してください。

リサイクルは、「きれいなもの」が基本です

汚いもの、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします！

※5月の不燃物収集は**17日**です（第３水曜日）。
※ゴールデンウィーク中の可燃ごみ収集は、**５月１日**（月・木収集地区）と**２日**（火・金収集地区）のみです。

保健師だより

5/9～5/12 集団健診が始まります

ことしも集団健診の時期がやってきました。申し込んだ人は確認をお願いします。
※日程を変えたいときは前日までに保健福祉課（℡0966-43-4112）へ連絡してください。

	5/9（火）	5/10（水）	5/11（木）	5/12（金）
午前7時～午前7時30分	下染田・上里2	下城・野中田2	野中田1・下里	上猪・中猪
午前8時～午前8時30分	上染田・植木	上村	浜川・中里2	野中田3
午前9時～午前9時30分	古城	瀬戸口	上里1	田上・中里1
午前10時～午前10時30分	浅鹿野	下村	上里3	馬場

お願いしたいこと

- 問診票と一緒に配られる水色の検診受付票も、当日持参してください。
- 基本健診を受診する人は、70歳以上でも料金がかかります。
- 「健診受診希望調査票」を提出したときに、空白の欄があった人には、念のため問診票などを配っていることがあります(キャンセルの連絡は不要)。
- 配られた用紙はよく読んでください。
- 【本町の国民健康保険に入っている人】「特定健診」は町の総合健診か集団健診でのみ受診できます。申し込んでいない人は、前日までに申し込みをして受診してください。

問診票に必要事項を書いてください

各検診ごとに、問診票が同封されています。
必ずよく読んで、必要事項を書いてきてください。
歯科検診を受診する人は健康手帳も持参してください。

注意

- 40歳以上の人には、念のため大腸がん検診の採便容器を同封しています。
- 80歳以上の人は、胃がん検診（バリウム検査）を受診できないことがあります。

〈湯前町保健センター　　文責　野々原〉

編集後記

editiorial note

▼雨や寒さで開花が遅れた桜。満開の姿に、恵まれないシャッターチャンス。雨男の運命。雨でも上手に撮れるこつを学びます。▼前任が広報を卒業したのが5年。とうとう私も広報担当5年生。毎年町の話題を皆さんにお伝えしていますが、ことしも話題が盛りだくさんです。「誌面づくりでまちづくりを考える」。ことしも町の皆さんと一緒に広報ゆのまえを作りながら、まちづくりについて考えていけたらと思っています。1年間よろしくお願いします。▼県内のとある古民家カフェ。なんと築150年。診療所として使われていた場所がリフォームされていて、おいしい食事と良い感じの雰囲気にいやされました。本町でも空き家を活かした取り組みが始まっています。昔ながらの良さを活かしながら、今を生きる人の生活に合わせる。難しいことですが、その二つの良さが合わさったとき、新しいものに負けないような魅力が生まれるのではないでしょうか。㊪

［今月の表紙］
始まりの春。湯前中の入学式。歩幅は大きく、ひとみはまっすぐ。新たな決意をむねに入場。ドキドキ、ワクワク。いろんな感情が入り交じる新生活。新入生は自分の夢へとつながる第一歩を踏み出しました。

がまだすっ！

団長　坂口 真紀子
2017　VOL.13

役員紹介

役職	氏名	地区
団　長	坂口　真紀子	下　里
副団長	工藤　正明	馬　場
〃	右田　千晴	下　村
事務局／会計	山野　瑛人	中里2
企画部長	野田　翔平	馬　場
社会産業部長	右田　千晴	下　村
文化部長	工藤　祐二	中里1
体育部長	溝下　寛明	野中田2
広報部長	安井　佳奈	中　猪
監　　事	瀧森　道太	下　城
〃	椎葉　直斗	田　上
球青協常任理事	姫野　宏太	中里2
〃	橋本　康平	野中田3

青年団の話題

3・4月のわだいを紹介します

- **3/5（日）球青協総会**
- **3/19（日）湯前町青年団総会**
- **4/12（水）里宮神社春季大祭みこし担ぎ**
- **4/29（土）第12回ゆのまえ潮（うしお）おっぱい祭り（バザー出店）**

青年団情報

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

- **5月**　新入団員歓迎会
- 資金作り ※ご協力をお願いします！
- **6月25日（日）**　球青協体育祭

団長
坂口（さかぐち）　真紀子（まきこ）（24＝下里）

「和気あいあいとした団にして、いろんなことに挑戦していきたいです。若いからこそできることをしていきたいと思います。ことしもよろしくお願いします！」

戸籍の窓

ご結婚おめでとう

黒﨑　友一（中里2）♥ 福島　篤子（熊本市）
石原　拓瑠（上村）♥ 伊吹　玲奈（滋賀県）
新田　慎也（大阪府）♥ 髙木　千波留（植木）

ご冥福をお祈りします

山本　ミサヱ（下村）
久保田トシ子（野中田3）
神田　春夫（上染田）
新堀　キヨ（下里）
宮野　元美（浅鹿野）
柳川　今利（瀬戸口）
松﨑　アタル（浜川）

香典返し

山本　羊一（愛知県）
山本　正治（下村）
山本　美智子（古城）
新堀　浩一（下里）
宮野　マサ子（浅鹿野）

平成29年3月1日～平成29年3月31日

広報ゆのまえNo.430の記事の内容に誤りがありましたので、深くおわびし訂正します。

P5　本文　（誤）本町には上里の町観音と宝陀寺観音の二カ所があります
　　　　　（正）本町には上里の町観音と宝陀寺観音、普門寺観音の3カ所があります
P15　文化のタカラ12行目　（誤）１３００年ごろ
　　　　　　　　　　　　（正）１２３０年ごろ
P18　（誤）高木さん、真下さんが決意表明
　　　（正）高木さん、間下さんが決意表明

yunomae 05
Vol.431
MAY.2017
湯前町広報誌

町の歴史とともに歩んできた道のり—。

ことしは町制施行80周年
80歳の「二八の会」が同窓会を開催

昭和12年4月1日に湯前村から湯前町へと町制が施行され、ことしでちょうど80年。昭和28年に湯前中学校を卒業し、本年度80歳を迎える「二八の会」（吉村光会長）の同窓会が3月30日にゆのまえ温泉「湯楽里」で開かれ、43人が酒を酌み交わして交流した。

同会は昭和12年度に生まれた本町出身者でつくられ、事務局長の石見勉さん（79＝上里1）が主となり毎年同窓会を開いている。ことしは長寿を祝う「傘寿」の祝いと町制施行80周年の二つの祝いを兼ねて開催。中学校卒業時は約200人の同級生がいた。この日は地元だけでなく、福岡県や遠くは東京都などから43人が集まった。

会長の吉村さんは「今、町でも深刻な少子高齢化の現状がある。10年、20年と長生きして、湯前を盛り上げてほしい。今日はお互い語らいながら楽しく交流しよう」とあいさつ。参加者は小中学校時代の思い出ばなしにふけり、楽しく交流した。

※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ
広報ゆのまえ５月号
TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL http://www.town.yunomae.lg.jp/

発行／湯前町役場総務課 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成29年5月1日 印刷／(有)町田印刷